

## 普及現地情報

発信年月日：令和2年（2020年）6月1日  
所属名：甲賀農産普及課  
番号：C20005  
部門分類：170（花き）  
発信者名：村木

### 加工用キク栽培モデル農家の育成に向けて

近年の切り花の需要は組花加工用を中心に増加しており、県では、この加工用の実需に対応した小ギクや中輪ギク、リンドウ等を推進し、その生産が拡大しています。

甲賀管内では、加工用中輪ギクは、7戸が少量土壌培地耕による栽培に取り組まれています。そして今年、新たに1戸が花き専用ハウスを新設され、栽培を開始されました。

当課は、この方を施設キク栽培年二作体系のモデルとして普及指導活動計画対象に位置付け、栽培技術の習得と持続的な経営の実現に向けて支援しているところです。

5月20日、盆前の需要に向けて出荷する「岩の白扇」の直挿し作業が行われました。当日は、集落の方7名が応援に来てくださり、ハウス内に並べられたプランター744箱に14,880本の穂を植え付けました。

当課は、事前準備から支援を行い、当日も実演を交えながら作業のポイントについて説明し、直挿し方法とその後の管理について理解を深めていただきました。

引き続き、JA、農業革新支援部等と連携しながら、まずは需要の最盛期となる8月上旬に確実に出荷できるよう、高温対策などの支援を行っていきます。



直挿し作業の様子



当課新採職員も作業を体験